

2024年 第4号

本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発行いたします。



motosushi commerce and industry

本巣市商工会

〒501-0406 岐阜県本巣市三橋 1101-6

TEL. 058-323-1010 FAX. 058-323-1093

<https://www.gifushoko.or.jp/motосу/>

今回は、小規模事業者の AI 活用の実務についてレポートします。

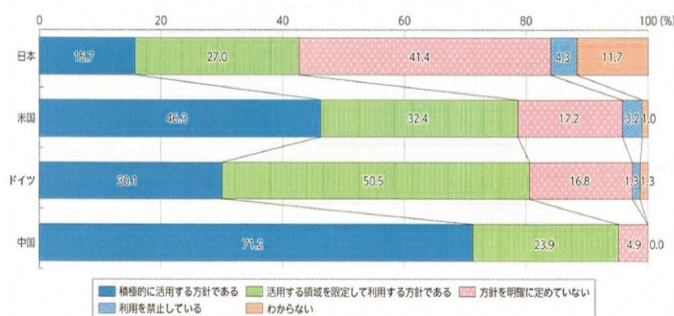
生成 AI を業務に活用している回答者の 58%が週に 5 時間の節約ができていますと回答しています。AI 活用にご興味がある方は、商工会へのご相談をご検討ください。

▶①生成 AI への取組状況

国内外で議論を巻き起こしながらも、利用者の拡大を続けてきた生成 AI のサービスは、国民生活にどの程度浸透しているか。総務省の生成 AI を含む“デジタルテクノロジー”の利用状況等のアンケート調査によると、生成 AI を“使っている”（「過去使ったことがある」も含む）と回答した割合は日本で 9.1%であり、他国と比べて低い結果となりました。

一方、生成 AI の活用方針が定まっているかどうかを尋ねたところ、日本で“活用する方針を定めている”（「積極的に活用する方針である」、「活用する領域を限定して利用する方針である」の合計）と回答した割合は 42.7%であり、今後企業においても、生成 AI の導入が一層進むことが予想されます。企業は、生成 AI ツールを使用することで節約された時間を価値とやりがいのある活動に振り向けるといったアプローチをとることが重要だと感じ始めています。

生成AIの活用方針策定状況（企業）



出典：「令和 6 年版情報通信白書」（総務省） <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html>

▶②具体的な AI 活用事例

1. 文字起こしツール「CLOVA Note」

文字起こしは、業務の中でも特に手間のかかる作業の一つです。LINE が提供する「CLOVA Note」は、高精度な文字起こしが可能で、月 600 分まで無料で利用できます。音声で録音し、音声で文字に変換できるため、会話やインタビューの内容を、聞き逃すことなく記録できます。これにより、重要な情報を逃すことなく効率的にメモを残すことができます。

2. メール文作成

AI を使ってメール返信文を作成することもできます。特に、「Claude（クロード）」というツールは自然な文章を生成するのが得意です。ポイントは、AI に自分の文章のサンプルをいくつか読み込ませることです。そうすることで、AI が自分らしい文章を作成してくれます。これにより、AI が作った文章でも、自分が書いたかのような印象を与えることができます。AI によって作成された文章は、時間の節約にもつながり、効率的にメールの返信を行うことができるため、ビジネスシーンでも非常に便利です。

3. 動画作成

「NoLang」というサービスを使えば、ホームページや PDF を内容を読み込ませるだけで、AI が自動的に動画を生成してくれます。例えば、企業紹介や商品の使い方の動画などを手軽に作れます。さらに、対話形式の解説動画も作成できるため、難しい話題でも様々な視点から解説することができ、視聴者の理解が深まります。例えば、新人向けのマニュアル解説動画などを作ることができます。わずかな入力で動画が完成するため、専門的な知識や技術がなくても、誰でもすぐに使える優れたツールです。

※上記の内容は一例であり、商工会として推奨するものではありません。ご自身の判断でご活用ください。

▶③AI 活用に関する課題解決に向けた支援があります。まずは商工会へご相談ください。

商工会 Web セミナーは、無料の商工会専用サービスです。地域企業の皆様に「経営実務」「労務」「経理」「IT」などに関するセミナーをパソコンやモバイルで視聴いただけます。経営支援情報の入手、社内研修として、また自己啓発に是非ご活用ください。

さらに、自社の置かれた環境に応じた経営課題を把握し、適切な AI 活用や IT ツールの導入を支援するために、商工会では専門家派遣支援も実施しています。まずは商工会へお問合せ下さい。

▶全国の小規模企業景気動向調査

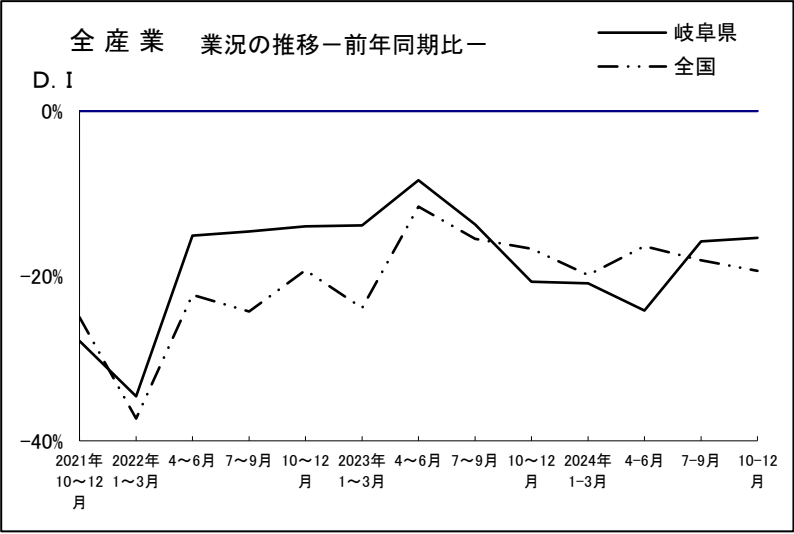
今回は、景況動向を把握するための業況DIを活用しました。業況DIとは、景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた数値で、0を基準としてプラスの値は、景況が上向き傾向の企業割合が多いことを示し、マイナス値は景況が下向き傾向の企業割合が多いことを示します。

本年度第3四半期における岐阜県産業全体の業況DIは▲15.4(第3四半期)で、前回調査の第2四半期に続き全国平均を上回りました。

産業別に全国と比較すると、製造業は全国平均を大きく下回っており、原材料価格や仕入単価の上昇等により景気回復が遅れていることがうかがえます。

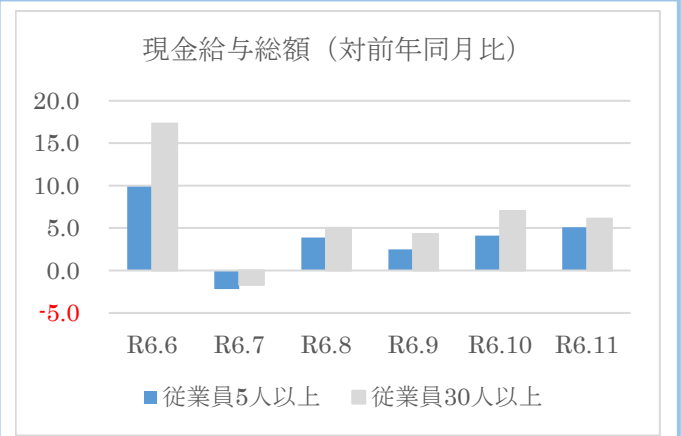
逆にサービス業は、年末年始の需要増加の好影響もあり全国平均を上回りました。

産業別DI	岐阜県	全 国
製 造 業	▲33.3	▲19.6
建 設 業	▲ 6.3	▲ 2.3
小 売 業	▲25.8	▲31.3
サービス業	▲ 2.1	▲14.1



出典：岐阜県商工会連合会「第182回中小企業景況調査報告書 景気動向（2024年10月～12月）」

▶岐阜県内事業所規模別 現金給与総額の推移 ▶ハローワーク別 有効求人倍率の推移（パート含む）

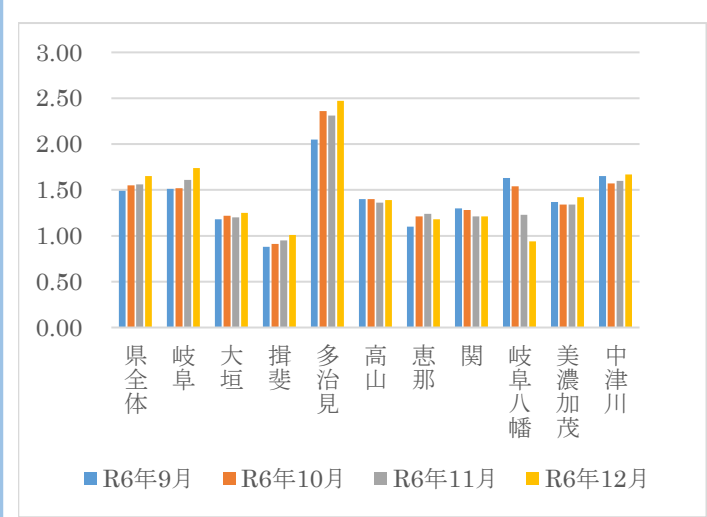


～給与総額は高い伸びを維持～

岐阜県内の事業所で支払われる現金給与総額（賞与等も含む）は、令和6年7月はマイナスであったものの、その他の月はプラスで推移しており、4ヵ月連続で賃金の上昇傾向が続いています。なかでも6月は高い伸びを見せており、夏の賞与等が賃金総額に大きく影響したと考えられ、特に従業員30人以上の企業が目立つ結果となりました。

なお令和6年11月データで現金給与総額は、規模5人以上で272,786円、規模30人以上では307,399円となっています。

出典：岐阜県統計課「毎月勤労統計調査」



～有効求人倍率は対前月比で堅調に推移～

ここ数か月の岐阜県内の有効求人倍率は、岐阜県全体でみると全体的に上昇傾向が見受けられます。なかでも多治見管内は群を抜いて高い倍率を示す一方、関・岐阜八幡管内は減少傾向が続いています。

また、バックデータ資料を基に対前年同月で見比べてみると、一般求人（正社員等）は上昇傾向で、パート求人はやや減少傾向となっています。このことから、最近是一般求人に対するニーズが高いことが窺えます。

出典：岐阜労働局職業安定部